

会 議 録

会議の名称	第10回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会合同会議
開催日	平成26年2月25日(火)
開催時間	午前10時30分 から 11時 45分 まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	秋葉清一郎、佐々木 操、高橋直樹、明野真久、細井将司、鶴岡 洋、高原 昭、市村春樹、折原茂幸、浅野悦子、長谷川 博、野口政治、橋井公治、浅見淳二、斉藤正美、中川幸廣、清水直人、菅原清孝  18人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	神山邦夫、尾崎晴男  2人
説明員の職・氏名	総合政策部部長 平岩亮司 企画調整課 公共交通準備室 室長 齋藤 久 企画調整課 公共交通準備室 主幹 大谷昌司 企画調整課 公共交通準備室 主査 内田英俊
事務局職員の職・氏名	総合政策部部長 平岩亮司 企画調整課 課長 野口仁史 企画調整課 公共交通準備室 室長 齋藤 久 企画調整課 公共交通準備室 主幹 大谷昌司 企画調整課 公共交通準備室 主査 内田英俊
その他会議出席者の職・氏名	傍聴3名

<p>会議次第</p>	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運行业務に係る公募型プロポーザルの実施結果について</p> <p>(2) 白岡市生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持事業】（案）について</p> <p>(3) 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会歳入歳出予算の補正について</p> <p>(4) 白岡市の新たな公共交通サービスに関するアンケートの集計結果について</p> <p>(5) その他</p> <p>4 閉会</p>
<p>配布資料</p>	<p>会議次第</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運行业務に係る公募型プロポーザルの選定結果について（報告）</li> <li>・ 白岡市生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持事業】（案）</li> <li>・ 平成25年度白岡市地域公共交通確保維持改善協議会歳入歳出補正予算（第1号）（案）について</li> <li>・ 白岡市の新たな公共交通サービスに関するアンケート報告書</li> <li>・ 白岡市の新たな公共交通サービスに関する聞き取り調査報告書</li> <li>・ 3 会議事項（5）その他 デマンド交通事業の名称について</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<b>1 開会</b> 平岩総合政策部部長の進行により会議が開会した。
小島市長	<b>2 挨拶</b> 小島市長から挨拶が行われた。
事務局	<b>3 会議事項</b> <b>(1) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運行業務に係る公募型プロポーザルの実施結果について</b> 事務局から資料に基づき説明が行われた。
秋葉会長	(質疑) 当協議会委員である昭和タクシー（有）A委員の利害関係に関わる事項だが、引き続き会議に参加してよいか。
各委員	異議なし
秋葉会長	事務局の説明について、ご質問等あればお願いしたい。
B委員	採用予定のシステムは、運行台数や運行区域について、どの程度の処理能力があるのか。
C委員	今回は、2台の運行なので処理能力的に問題はない。運行区域についても問題ない。
秋葉会長	昭和タクシー（有）の企画提案を可・採用とし、委託候補者として選定するということがよいか。
全委員	異議なし

秋葉会長	<p>(1)白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運行業務に係る公募型プロポーザルの実施結果について昭和タクシー有限会社の企画提案を可・採用し、委託候補として選定することにする。</p> <p><b>(2) 白岡市生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持事業】（案）について</b></p>
事務局	事務局から資料に基づき説明が行われた。
B委員	<p>(質疑)</p> <p>6ページの「人口集中地区以外」と「交通不便地域」とは何か。</p>
事務局	<p>「人口集中地区」は国勢調査で決められている地区で、白岡駅周辺と新白岡駅周辺の2地区である。</p> <p>「交通不便地域」は半径1キロメートル以内に駅及びバス停が存在しない地域である。JR宇都宮線東側の市域の中央部辺りである。</p>
D委員	<p>「交通不便地域」の各地域の合計をすると小数点以下の関係だと思いが数字が合わない。総数から1キロメートル圏内人口を引くと数字は合っている。</p>
事務局	確認して修正したい。
秋葉会長	<p>それでは、白岡市生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持事業】については基本的に案のとおりとする。</p>
事務局	<p><b>(3) 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会歳入歳出予算の補正について</b></p> <p>事務局から資料に基づき説明が行われた。</p> <p>質疑なく、原案のとおり承認された。</p>

事務局	<p><b>(4) 白岡市の新たな公共交通サービスに関するアンケートの集計結果について</b></p> <p>事務局から資料に基づき説明が行われた。</p>
E委員	<p><b>(質疑)</b></p> <p>9ページを見るとデマンド交通の認知度が低いので、デマンドについては分かりやすく周知をしていただきたい。</p>
事務局	<p>平成26年度は実証運行を開始するため、2,400万円の予算を計上する予定である。</p> <p>実証運行业務に係る経費が多くを占めているが、周知活動に関する経費も計上している。</p> <p>予算決定後の3月下旬に各行政区の区長に説明することを皮切りにして、地域の様々な催しや会合に出向いて仕組みについて説明したい。</p> <p>その他の周知活動としては、公共施設、医療機関、スーパーマーケットへののぼり旗等の掲示、横断歩道橋への横断幕の掲出、会合での啓発物資の配布などを予定している。</p> <p>また、市民の方にデマンド交通の車両の愛称を募集したいと考えている。</p>
B委員	<p>これから年度末にかけて各市民団体の総会が開かれる。</p> <p>区長を通して説明してほしい。想定される利用者は65歳以上の方なので、白老連の総会や民生委員を通して「ふれあい・いきいきサロン」などの組織に周知してほしい。</p>
事務局	<p><b>(5) その他</b></p> <p><b>ア デマンド交通事業の名称について</b></p> <p>資料に基づいて説明が行われた。</p> <p>質疑なく、意見があれば、事務局に連絡することとなった。</p> <p><b>イ その他</b></p>

E 委員	<p>来年度、実証運行を行うことになるが、タクシーや既存バスとデマンド交通と共存共栄を図っていただきたい。</p> <p>デマンド交通を進めることで既存公共交通がなくなることが市民にとって一番の問題となる。</p> <p>昨年に交通政策基本法が制定された。行政、事業者、市民が地域の足を守るという基本理念が確立されたので、それを踏まえて進めてほしい。</p>
F 委員	<p>来年度から実証運行されるデマンド交通は既存のバス路線を維持するために計画があるということが前提である。既存のバスを維持しながら、デマンド交通の利用者を増やす方法を考えてほしい。</p> <p>地域交通活性化及び再生に関する法律の一部改正案が、平成26年2月12日に閣議決定された。市町村が地域公共交通網形成計画を策定することになる。街づくりと一体として地域公共交通を盛り上げていただきたい。</p>
事務局	<p>市全体としての公共交通をどのように再編していくかを念頭に検討してきた。既存の民間路線バス事業、タクシー事業を維持発展しながら、行政としての役割を担わなければならないということで新たな公共交通サービスを検討している。</p> <p>白岡市の交通が活性化して市民の方が便利だと感じていただくように交通事業者と一緒に今後も検討していきたい。</p>
F 委員	<p>関東運輸局では地域公共交通マイスター制度を創設した。</p> <p>市でもこの制度を利用し、講習会に参加するなどして公共交通に取り組んでいただきたい。</p>
佐々木副会長	<p><b>閉会</b></p> <p>佐々木副会長から挨拶が行われた。</p>